



両立支援等助成金 (育児休業等支援コース)

労働者に育児休業を取得させ、職場復帰させた事業主に対して助成されます。

受給できる事業主 ※下記以外にも、雇用関係助成金共通の要件などいくつかの受給要件があります。

次のいずれかに該当する雇用保険の適用事業所の中小事業主

【1】育休取得時

次の①および②のいずれにも該当すること

- ①育休復帰支援プランを作成し、対象者の育児休業（産前・産後休業から引き続き育児休業を取得する場合は産前休業）開始日までに業務の引き継ぎを実施すること
- ②3カ月以上の育児休業を取得すること（産後休業を取得する場合は産後休業を含めて3カ月以上）

【2】職場復帰時

次の①および②のいずれにも該当すること

- ①育休取得時の支給を受けていること
- ②育児休業終了後、原職等に復帰させ、引き続き6カ月以上継続して雇用していること

【3】代替要員確保時

次の①および②のいずれにも該当すること

- ①育児休業者の職務の代替要員を確保したこと
(所定労働時間が育児休業者と同等であること、新たな雇入れにより確保すること等、一定の要件があります)
- ②育児休業終了後、原職等に復帰させ、引き続き6カ月以上継続して雇用していること

【4】職場復帰後支援

次の①および②のいずれかの制度を規定し、育児休業復帰者に復帰後6カ月以内に利用させていること

- ①子の看護休暇制度（10時間以上の利用実績があること）
- ②保育サービス費用補助制度（3万円以上の補助実績があること）

※ 「新型コロナウイルス感染症対応特例」は、2021年11月30日を以って申請の受付が終了しています

受給内容

	支給額	加算等
育休取得時（※1）	28万5,000円<36万円>	
職場復帰時（※1）	28万5,000円<36万円>	職場支援の取り組みをした場合 19万円<24万円>加算（※2）
代替要員確保時（※3）	47万5,000円<60万円>	支給対象者が有期契約労働者の場合 9万5,000円<12万円>加算
職場復帰後支援（※4）	制度導入時 28万5,000円<36万円>	【介護休暇制度】 1,000円<1,200円>×時間 【保育サービス費用】 実支出額の2/3補助

※ < >内は生産性要件の向上が認められる場合の額

※ 1 1事業主当たり2人まで（無期雇用者、期間雇用者、各1名）

※ 2 1事業主当たり1年度10人まで5年間助成

※ 3 「子の看護休暇制度」または「保育サービス費用補助制度」について、それぞれ1事業主あたり1回限り支給

※ 4 「代替要員確保時」との併給はできない

取り扱い機関

都道府県労働局雇用環境・均等部（室）